

発表活動の紹介

【寄宿舍】 なかよし発表会

7月15日（水）の18：15から、寄宿舍で「なかよし発表会」が催されました。

このなかよし発表会は、「お互いの考えや関心事などを理解し、わかり合おうとする態度を養う。」ことと、「伝え方や話

を聞く態度などの向上を図る。」という目的で行われているのですが、自分自身の日常を振り返り、言語化して皆さんに聞いてもらったり表現したりする活動はとても価値があると思いました。そして、4人しかいない舎生の発表内容は、それぞれ独自の発想で仕上げられており、大きな舞台が準備されていながら、とても自由な雰囲気でした。体調不良で帰宅した仲間の分まで、3人で作り上げた発表会になりました。小学生女子は、普段から練習しているピアノの曲を3曲も披露してくれました。堂々としており、リズムに乗って体を揺らしながら両手を使って弾いてくれる様子は、とても凛々しかったです。とても上手でした。中学生男子は、中学部に入ってから始めた部活動のバドミントンについて発表してくれました。サイドステップやシャトルを打つ練習（左手を的のように挙げて、右手に持ったラケットでシャトルを打つ。）を動画を使って、少し実演も交えて教えてくれました。彼の大切な日常の様子や気持ちを表現してくれました。とても良かったです。最後に発表した小学部男子は、誰も考えつかないようなことを調べてくれました。様々な自動車のバックする際の音を聞き分け、違いを楽しむ内容です。聾学校でありながら音を聞き分ける自由研究とは・・・と感動すら覚えました。「確かに違ってカッコいい！！」と思いましたよ。着替えをして、車の前や後ろから見た表情を顔まねするという発表に、みんなは大爆笑です！！この発想は、将来大物になる予感がしました。更に今年は、教育大学の手話サークル「しゅわしゅわ」の皆さんが活動の様子をスライドを使って教えてくれ、手話歌を披露してくれました。それも、小学部が運動会で踊った Mrs. GREEN APPLE の「青と夏」だったので大盛り上がりです。

とても楽しいひとときを過ごした価値ある発表会になりました。



18年 仲よし発表会



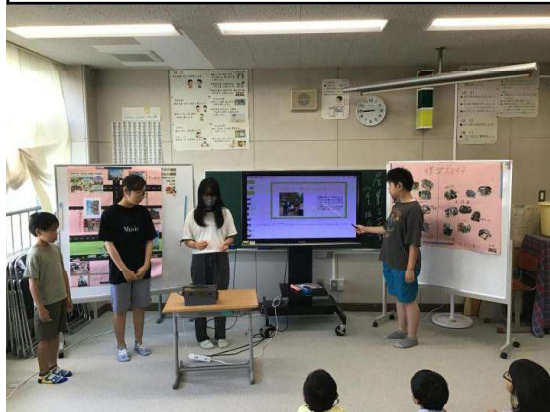
仲よし発表会



18年 仲よし発表会



【小学部】 修学旅行報告会



7月16日（木）の朝、小学部朝会の時間を使って小学部5，6年生が修学旅行の報告会を開きました。具合が悪くて帰宅した仲間とは、オンラインでつないで、発表の様子を見てもらいました。お休みしてもみんなで体験したことを発表する様子や時間を共有できることは、とても素晴らしいことですね。そして、音声が届うくても、手話で伝わり合える様子も嬉しくなります。

iPad をテレビとつないで、スライド画面を開いて、自分たちで「どこを誰が発表するか」を決めており、ササッと交代しながら発表する姿はとても気持ちがいい感じがしました。

修学旅行では、自分から積極的に行動していたため、学校では体験できないことを体験し、多くの学びを得ていました。研修先やホテルで

食べたおいしい食べ物のこと、一番ドキドキした乗馬体験のこと、みんなで目的地を見つけ出した自主研修のこと、そして、札幌市中心部で乗ったノルベサの観覧車体験などについて発表していました。

しかし、その発表だけが見せ場ではなかったのです。私には、発表が終わった後にこそ見せ場があったと思えました。子どもたちは、自然に「反省会だよ。」と言いながら、自分たちでササッと椅子を車座に並べ、オンラインで参加している友達が見やすいように椅子の並べ方を試行錯誤し、反省会を始めたのです。いつもやっていることからだと思います。自然に反省会を始める子どもたちの姿はとても頼もしく見えました。



声の大きさのこと、指示棒で指すさし方のことなど、子どもたちからは改善点が出てきました。最後にオンラインで参加していた友達がとても良い発表だったと評価してくれ、とても前向きになれる反省会をしていました。

発表活動だけではなく、発表した内容ややり方を自己評価し、前向きに学んでいこうとする子どもたちに拍手を送りたいと思います。

私も修学旅行と一緒に行って良かったです。この体験はプライスレスですね。